

当社のあゆみ・前中期経営計画の振り返り

当社のあゆみ

当グループの強みである横断・融合やトッププレイヤーとの提携・出資により、時代の変化に沿った新たな価値を創出し、事業ポートフォリオを強化してきました。

今後も資産運用・資産管理ビジネスを軸として、信託グループらしいビジネスモデルの推進により、持続的・安定的成長の実現を目指していきます。

社会的価値創出と経済的価値創出の両立

- UBS SuMi TRUST
ウェルス・マネジメント設立(2021)
- Trust Base設立(2021)
- 政策保有株式保有ゼロ方針の公表(2021)

第2の創業

- 指名委員会等設置会社へ移行(2017)
- 資産管理専門信託銀行統合(2018)
- 資産運用機能の分割・統合(2018)



Challenge & Creation

- タイ現地法人設立(2014)
- 三井住友トラストクラブ誕生(2015)

The Trust Bank

- 三井住友信託銀行誕生(2012)
- 三井住友トラスト・アセットマネジメント誕生(2012)
- 三井住友信託銀行香港支店の開設(2013)

三井住友トラスト・ホールディングス 誕生
SUMITOMO MITSUI TRUST HOLDINGS



前中期経営計画の振り返り

パーパス(存在意義)のもと、「社会的価値創出と経済的価値創出の両立」を経営の根幹に据えました。

企業価値の向上による果実を家計にもたらす「資金・資産・資本の好循環」の実現を最優先課題に、日本経済・企業の持続的・安定的な発展と、健全な資本市場の育成、そして、お客さまや社会のWell-being向上に真正面から取り組みました。

3つの基本戦略と主な成果

事業ポートフォリオ強化	資本戦略	業務品質高度化
① ビジネス基盤の強化 <ul style="list-style-type: none"> • 信託型金融仲介ビジネスを推進 • 外部パートナーとの提携・出資により機能を補完 ② 新たな成長領域の確立 <ul style="list-style-type: none"> • 三井住友信託銀行の組織再編を実施 ③ 戦略的リソースミックスの推進 <ul style="list-style-type: none"> • Trust Baseを設立、DX推進を加速 	<ul style="list-style-type: none"> • 資本の十分性を確認し、資本活用フェーズへ • 政策保有株式保有ゼロ方針を公表、市場の拡大に資する投資を加速 • 収益性・採算性向上を企図した資産の入れ替え 	<ul style="list-style-type: none"> • 業務プロセス・品質改善に立ち返り、リスクガバナンスを強化 • 業務品質高度化の枠組みを構築

主要KPI

中期経営計画最終年度(2022年度)の親会社株主純利益は、目標の1,900億円を達成し、2011年の経営統合以来の最高益となりました。

	自己資本ROE	実質業務純益	親会社株主純利益 ^{※1}	経費率(OHR)	普通株式等Tier1比率 ^{※2}	手数料収益比率	配当性向
目標	7%程度	3,100億円	1,900億円	60%台前半	10%台前半	50%台半ば	40%程度
2022年度実績	6.93%	3,246億円	1,910億円	60.1%	9.5%	55.1%	40.2%

※1 親会社株主に帰属する当期純利益 ※2 パーゼルIII最終化ベース



新マネジメント体制発足



UBSグループとの協業



Apolloグループとの業務提携